

鼓膜のけが



鼓膜は、ケガで簡単に孔があきます。ケガであいた孔と、中耳炎であいた孔との区別は、耳鼻咽喉科専門医が診察すれば、簡単に鑑別できます。

以下、鼓膜のケガについての説明をいたします。

鼓膜のケガの原因。

1. 耳そうじ（耳かき、綿棒による）

私は、耳鼻咽喉科医の立場として、いつも患者さんに、“耳そうじの危険性”を警告しています。ちょっとしたはずみで、鼓膜に孔をあけてしまった多数の患者さんを見ていますからです。

2. 平手打ち。

子どもに対する両親や教師の“悪意のない平手打ち”や、夫婦げんかで簡単に鼓膜に孔があきます。

3. 水泳のとびこみ、潜水、飛行機の急上昇・急降下、爆風、耳への接吻等で鼓膜に孔があく事もあります。

4. 昆虫や木の枝がとびこんで鼓膜に孔があく事もあります。

鼓膜のけがの症状。

1. けがをした方の耳の聞こえが悪くなり、良い方の耳がつまった感じがします。

2. 少量の出血をする事があります。中耳炎になると耳だれが出る事があります。

鼓膜のけがの治療。

1. 中耳炎にならないように、2～3日間、抗生剤を内服します。

2. 水泳は禁止です。又、お風呂の水が入らないように気をつけてください。

3. 聴力の低下が激しい場合は、鼓膜の奥にある耳小骨の損傷を考えなければなりません。その場合は早期の手術が必要になります。

鼓膜のけがの今後の見通し。

1. 鼓膜の孔は小さい時は、ほとんどの場合自然にふさがります。

2. 鼓膜の孔が大きい時には、自然にふさがらない時もあります。

3. ふさがる迄の期間は、孔の大きさ、個人の快復力等によって異なるので、その期間を予想するのは困難です。

4. 半年以上たってもふさがらない場合は、“鼓膜形成術”という手術でふさぐ事ができます。手術は簡単です。

鼓膜のケガも、体の他の部分のケガと同じように、体の自然の治癒力でなおっていくものです。通院の目的は、中耳炎の予防と経過観察のためです。

鼓膜に孔があいた場合は、なるべく自然になおるのを待って、手術は6ヵ月以上たってから考えるのが得策でしょう。

矢野耳鼻咽喉科
医学博士

藤沢市善行 1-25-11
日本耳鼻咽喉科学会専門医
日本耳鼻咽喉科学会専門医
日本耳鼻咽喉科学会専門医

8 1 3 5 4 1
矢野 潮
矢野 ゆかり
矢野 さゆり